

懇話会の進め方と現地調査概要

下水道を核とした市民科学育成プロジェクト
懇話会事務局

目次

1. 懇話会の進め方
2. 現地調査概要
 - 2.1 モデル流域・調査対象地
 - 2.2 現地調査の内容

1. 懇話会の進め方

モデル流域における環境調査をふまえ、目指すべき水環境の姿、流域一体となった課題解決策に懇話会を通して検討する。懇話会は段階的な趣旨に応じた内容や参加者を予定する。

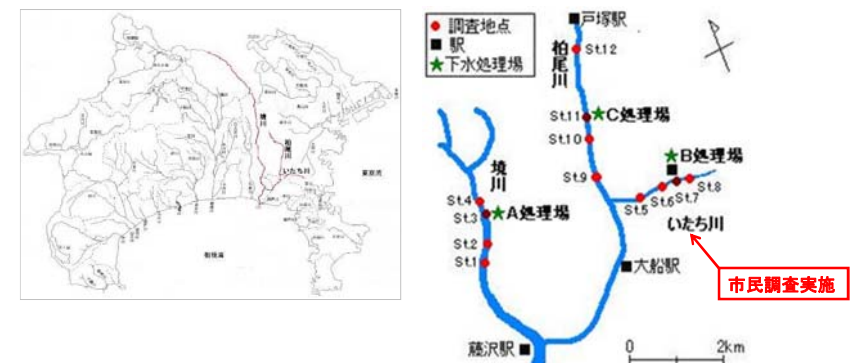
回	時期、場所等	開催趣旨(目標)	内容
第1回	9月18日 本日、国際航業会議室	下水道を核とした市民科学育成に関する意見交換と結果を本プロジェクトに反映する	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民科学」の現状と課題 ・市民とともに作り・育てる地域の水環境 ・「下水道のみえる化」、民間企業の参加 ・NPO、大学生、マスコミ等外部との情報共有
第2回(案)	10月25日(土) 13:00～ いたち川、神奈川県立地球市民かながわプラザ	モデル流域における現地で市民調査を行い、懇話会委員と市民、学生との対話により、市民科学の実践を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・「いたち川水辺愛護会」等のNPO団体、「東京都市大学学生」、自治体、民間の連携による市民調査、環境学習の実践 ・市民調査や活動に関する意見交換 等
第3回(案)	12月～1月の休日開催、モデル流域の市民が集まれる会議場	水環境調査への流域市民、学生の取組みと調査結果の報告、下水道のみえる化への取組みの方向を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・流域市民、国内外にむけて、本プロジェクトの芽だしについて成果を発表 ・今後の流域での取組みの可能性と展開について参加者とともにワークショップを行う

※第2回、第3回の企画は、本日のご意見を踏まえて内容のブラッシュアップを検討

2. 現地調査概要

2.1 モデル流域・調査対象地

下水処理方式の異なる水再生センターを擁する神奈川県内の境川流域を対象として、放流水が流入する3河川で流域市民・大学生が参加して調査を行い、測定結果の精度検証や2004年値と比較する等を目標とする。



※2004年値は、東京都市大学における卒業研究による結果を用いる

2. 現地調査概要

2.2 現地調査の内容

水質調査：水再生センターの上流・下流・放流口で測定、採水による分析

河川環境調査：上記調査地点の河川の状況を把握

市民調査：10月25日に「いたち川水辺愛護会」、「東京都市大学学生」の参加による、パックテストによる水質測定、アンケート等を予定

調査項目	調査内容	調査箇所等	調査回数(時期)
河川調査	水質調査	現地採水及び現地観測、室内試験	3河川：13箇所 1回/各河川 計3回 (9～10月)
	河川環境調査	現地観測（川幅、水深、流速、河道状況）	3河川：13箇所 1回/各河川 計3回 (9～10月)
	市民調査	パックテスト、感覚による調査等	いたち川放流口 1箇所 1回(10月25日 懇話会時に実施)
遊水地調査	水生生物調査	水生生物の採取、同定	境川流域4箇所 計1回(9月～)
アンケート調査	「市民科学」に関するアンケート	50名を対象	(10月25日～10月末)

※遊水地調査は、東京都市大学でいたち川等の4箇所の遊水地で水生生物調査を実施

2.2 現地調査の内容

水質調査では、水再生センターからの放流水による河川への影響を比較検討するために項目を選定。市民調査では流域市民に五感を使って身近な水環境を認識していただくため手軽な水質判定方法の体験、水の色や臭い、水温、河川形態や植生等による周辺景観の観察を実施。

水質調査(東京都市大学の学生・国際航業)

観測項目	観測方法
水温	現地計測、携帯用水質計
pH	
電気伝導度	現地計測、ポケット残留塩素計
残留塩素	
COD	現地計測、パックテスト
アンモニア性窒素※	
亜硝酸性窒素※	※印の3項目は、室内分析(公定法)も併せて実施する。(N-BODIに關与する項目であり、過年度調査では水質分析計による測定を実施している)
硝酸性窒素※	
大腸菌群	
DO	
BOD	室内分析、「下水試験方法上巻(1997)」による方法
C-BOD	室内分析、N-アリルチオ尿素を添加しC-BODを測定
N-BOD	BODからC-BODを減算

市民調査(いたち川水辺愛護会、東京都市大学の学生)

観測項目	観測方法
COD	・現地計測、パックテストキットによる観測 (参加者全員20名程度/1箇所)
残留塩素	
アンモニア性窒素	
硝酸性窒素	現地での感覚による調査(調査結果記録用紙への記入) (参加者全員20名程度/1箇所)
水の色	
水の臭い	
水への入りやすさ	
周囲の音	土手の緑の量 (参加者全員20名程度/1箇所)
水辺の満足度	
景観評価	透視度計を用いた調査 (参加者全員20名程度/1箇所)
透視度	
水温	棒状水温計による測定